

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 9月12日更新

事務事業名		区長連絡協議会運営支援事業			<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展			
総合計画体系	政策	1	自治の健全		所属部	総務部	課長名	坂井 竹志
	施策	1	市民参画によるまちづくりの推進		所属課	総務課	担当者名	上妻 里香
	業務分野	1	地域づくり(まちづくり)人材の育成		所属班	総務・男女共同参画班	(内線)	1228
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	
		一般	2	1	1	10328	合志市区長連絡協議会事業補助金交付要綱 合志市区設置規程	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始			事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	区長相互の親睦を図るとともに各区民の福利増進と各区の発展を図り、住みよい明るいまちづくりに貢献することを目的とする合志市区長連絡協議会の事務局を受け持ち、運営についての支援を行う。 平成19年5月25日合志市区長連絡協議会設立(旧町の現状で合併、合志町区長連絡協議会36区長及び西合志町区長連絡43区長)。平成21年11月1日桜路区が新設、平成23年4月1日に陽光台、平成26年9月1日にポレスター光の森自治会、平成27年4月1日に桜和の丘区、平成27年4月9日にみずき台区、令和4年5月1日にそのまちは区が設立され、85区となった。 目的は、会員相互の連絡協調、親睦をはかり、研修に努め、市の行政の健全にして円滑なる運営に寄与するとともに、常に各区民の福利増進と各区の発展を図り、もって住みよい明るいまちづくりに貢献することを目的とする。
【業務の流れ】	合志市区長連絡協議会事務局の事務①補助金交付申請受付、交付決定、支払②協議会等の開催および各種行事等への参加 1.区長連絡協議会、役員会の開催および先進地研修等の実施(開催通知発送、会議資料作成) 2.市等主催研修会等への参加(開催通知発送、参加者取りまとめ) 3.菊池南部区長協議会主催スポーツ大会への参加(開催通知発送、事前練習開催、参加者取りまとめ) 4.県北6市嘱託員代表者連絡協議会事務局(荒尾・玉名・山鹿・菊池・阿蘇・合志の6市で構成) 5.菊池南部区長協議会連合会事務局(合志市・大津町・菊陽町の1市2町で構成)
【主な予算費目】	【款】2総務費【項】1総務管理費【目】1一般管理費【節】3職員手当、9旅費、19負担金補助及び交付金(補助金)

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績

区長(自治会長)85名で組織する合志市区長連絡協議会の事務局を担い、会運営を事業計画に基づいて滞りなく実施した。総会1回、定例会1回、役員会を5回、研修会を1回実施した。協議会としては、市補助金を原資に、自治会未加入世帯への呼びかけのための加入促進グッズと加入促進のぼり旗を作成し、市民まつりや菊陽町で開催された台湾友好祭で、啓発し、市と共同で自治会加入を促す取り組みを初めて行った。自治会加入率は、75.15%(前年度比▲約1ポイント)であった。また、1市2町で構成する菊池南部区長協議会が主催する役員研修は、JASMの排水処理施設を見学した。・役員会6回開催・研修会(気づきうなずきフェスティバル共催)参加者34名。なお、令和6年度は83区に700円/戸×取扱戸数の区運営費補助金を交付し、住民自治の円滑な運営の一助を担った。

②7年度計画(次年度に計画している主な内容)

前年度と同様①補助金交付申請受付、交付決定、支払②協議会等の開催および各種行事等への参加 1.区長連絡協議会2回、役員会の開催5回および先進地研修等の実施(開催通知発送、会議資料作成) 2.市等主催研修会等への参加(開催通知発送、参加者取りまとめ) 3.菊池南部区長協議会連合会の各事業への参加(役員会、総会、体育大会、研修会) 4.県北6市区長等代表者連絡協議会への出席

③予算の主な増減の理由

区長連絡協議会運営に伴う職員時間外勤務手当の増

成果指標

ア	区長連絡協議会・役員会の開催が支障なく開催された割合	%
イ	研修会等の開催件数	回

(単位)

データ取得方法

(2)成果指標・総事業費の推移

成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
ア	%	100	100	100	100	100	100	100	0
イ	回	1	1	1	1	1	1	1	0
事業費	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	繰入金	千円							
	一般財源	千円	456	444	14,989	14,494	460	460	460
(A) 事業費計	千円	456	444	14,989	14,494	460	460	460	460

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)

区長相互の親睦を図るとともに各区民の福利増進と各区の発展を図り、住みよい明るいまちづくりに貢献することを目的としており、事業計画の協議会・研修会を行い円滑に運営ができた。

(4)今後の事業の方向性

廃止 縮小 事業のやり方改善 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)